

【高等学校用】

令和8年度学校評価計画

達成度(評価)
A:十分達成できている C:やや不十分である

学校名	佐賀県立太良高等学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要 (簡潔に)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業者がUDLやできる授業の共通理解のもと、生徒一人ひとりが理解しやすい環境づくりを行うことができた。また、ICT活用の可能性としてオンライン授業の充実を図っている。 ・委員会活動やボランティア活動、体験活動など主体的な活動に取り組む機会を設定することで、自己表現や自己決定を行う場面が多くみられるようになった。
------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 SAGAスクール・ミッション	<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ教育を通して、他者を思いやり、多様性を認め合うことのできる豊かな心を育み、すべての生徒が安心して学べる学校の実現を目指す。 ・太良町との協働的な学びや体験活動を通して、主体的に関わり、共に生きていく心を育て、地域社会に貢献できる人材を育成する。
------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 スクール・ポリシー	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー
	<ol style="list-style-type: none"> 強みを伸ばし、自立したいと強く願っている生徒 地域に積極的に関わりたいと思っている生徒 社会に貢献できるようになりたい生徒 	<ol style="list-style-type: none"> 地域と連携・協働し、創造する力を育てる教育課程を設定します。 様々な体験活動を通し、主体的に行動する力を育てる教育課程を設定します。 他者を認め、自己を知るために、教育活動の中で、互いに学び合う場を設定します。 	<ol style="list-style-type: none"> 答えのない問題に向き合い、新たな価値を生み出す創造力を育成します。 自分で考え、主体的に行動する、責任ある行動力を育成します。 他者を尊重し、対立を克服する調整力を育成します。

4 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 「できる授業」の共通理解と多様な学びの場の設定 ICT機器やAI副教材を活用し、学習支援から希望進路実現へとつなぐ個別最適化された教育活動 学習活動や学校行事において、生徒の主体性を育成する場の設定を行い太良町と協働した教育活動
------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5 重点取組内容・成果指標

重点取組内容・成果指標				中間評価	最終評価				
(1)共通評価項目									
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	●生徒個々人の能力や特性に応じたきめ細やかな指導の充実	●授業研究週間の年間2回以上の実施 ●ICT機器等を活用した授業を心掛けた教員90%以上 ●1年生の授業を中心に、AI副教材「すらら」を活用した「学び直しの時間」を取り入れた授業を実践した教員80%以上 ●授業評価アンケートの中で「授業内容が分かった・理解できた」と回答する生徒が80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の特性に応じた声掛け等の授業改善ができるよう、少人数指導、習熟度別指導、チームティーチング、リメディアル教育を推進する。 ・プリント教材の精選や、ICT機器の効果的な活用を進め、生徒の学習への動機づけを図る。 ・生徒の学力は様々なため、AI副教材「すらら」を活用し、生徒1人ひとりの学力にあった学習を家庭学習の課題等で主体的に学習に取り組む習慣を身に付ける。 ・授業のまとめとして振り返りアンケートを実施し、理解の定着度を確認する。生徒がつかずいた箇所を具体的に把握し、次時に授業に役立てる。 						
○進路意識の充実	○生徒が未来に希望を抱き、社会に貢献する意識を育む教育活動	○希望進路の達成率90%以上 ○自分の進路を意識した学校生活を送れたと感じる生徒の割合が60%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の進路行事や各学年の進路目標を周知し、進路意識を高める。 ・進学、就職についてのガイダンスを年に1回以上開催する。 ・礼儀作法、マナーについての講師を招き、規範意識、社会に貢献する意識の向上を図る。 						
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	●道徳教育推進教師を中心とする道徳教育推進のための研修会を1回以上実施する。 ●教育相談アンケート等を活用した生徒面談を1回以上実施 ●外部講師による人権・同和教育講演会を年1回以上実施	<ul style="list-style-type: none"> ・人権意識を高めるための講演会を実施し、HR活動等で自身の生活につながる指導を行う。 ・客観的な検査指標を利用した生徒理解を推進する。 ・月1回以上の生徒支援委員会や学年会等で生徒(特性)理解をし、支援を検討する。 ・SCの活用を通じて、生徒の支援体制の充実を図る。 ・就職活動中の面接や試験内容において、違反質問等がないかの確認を行い、適宜対応する。 						
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	●佐賀県いじめ防止基本方針の理解及び組織的な対応の実践が「よくできている」と回答した教職員90%以上 ●学校生活全般に関しての面談の実施を年に2回以上	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケートを年2回以上実施する。 ・いじめ防止に関する保護者への啓蒙活動を充実させる。 ・いじめ防止に関する職員研修会を実施する。 ・日頃から生徒の様子に気を配り、面談等において生徒の話聞く中で、学年や関係各部署で共有しながら、早期発見、早期対応に努める。 						
●健康・体づくり	②「望ましい生活習慣の形成」	②(学校独自成果指標) ●規則正しい生活習慣(起床、就寝等の時間)を身につけ、十分な睡眠時間(6時間以上)を確保した生徒65%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・健康調査を年2回実施し、自己の体調管理を把握させる。 ・講師を招き、健康教育を充実させる。 ・保健だよりや集会等の講話を通じて、望ましい生活習慣の啓蒙を図る。 						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外在校等時間が、1か月45時間未満、年間360時間未満となるように声掛けを行う。 ・定時退勤日を設定する。 ・学校閉庁日を設定する。 						
●特別支援教育の充実	●学習面や生活面で様々な困り感を抱える生徒へのきめ細やかな支援や相談の充実	●相談したり、支援を受けたりすることで学習面や生活面での困り感が軽減されたと感じる生徒の割合が60%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育学習支援員と連携し補助的な支援方法の向上を図る。 ・UDLに基づいた教育的配慮による授業実践 ・教育相談アンケートを年2回実施し、生徒の学校・家庭での状況を把握し、学年団との情報共有を図る。 						

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
★唯一無二の誇り高き学校づくり	★体験的な活動の充実と県内外への学校の魅力発信	★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合を70%以上、教職員の割合85%以上 ★県外からの入学者数8人以上 ★たたらこうフレンズへの出席率90%以上	・地域・企業等と協働した学校運営を進めるために月3回運営協議会を設定する。 ・委員会活動を通して、生徒が主体的に活動できる場を設定する。 ・SNS等を活用し、学校の魅力を積極的に発信する。						
○ICTを活用したオンライン授業の充実	○ICT(メタバース・Teams・教材等)を最大限活用し、生徒の学習機会を確保する研究を推進する。	○ICT活用について、「オンライン授業を実施することができる」教職員の割合90%以上 ○ICT活用の発表会を行い、成果についてまとめ周知を行う。	・定例会議(校内委員会)を月1回実施する。 ・オンライン授業の職員研修を年3回実施する。 ・研修動画の作成とオンデマンド視聴を11月までに行う。 ・研究冊子を12月までに完成させる。 ・1月末に指定研究成果発表会を実施する。						
○通級指導の実践	○自立活動の理解と実践 ○計画的な情報発信の実践	○自立活動の基礎知識に関する周知率80%以上 ○自立活動選択者の授業満足度80%以上	・月1回以上の通級指導委員会を通し、生徒に関する情報を共有する。 ・自立活動に関する教職員研修会を実施する。						

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

6 総合評価・
次年度への展望 (簡潔に)

・
・
・